

## 「会長就任にあたって」

日本複合・防音床材工業会 新会長  
大建工業株式会社  
内装材事業部事業部長 金田正樹



日頃は当工業会に多大なるご指導、ご支援をいただきまして、厚く御礼申し上げます。

この度、2020年6月16日の定時総会にて海堀前会長からバトンを受け、当工業会の会長を務めることとなりました大建工業の金田です。

まず、世界的に流行している新型コロナウイルス感染症により、お亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表すると共に、感染され闘病中の方々やそのご家族に対して、心からお見舞いを申し上げます。

就任に当たっての抱負を申しあげる前に、この場をお借りして、海堀前会長に一言、お礼を申し上げたいと思います。

海堀前会長に於かれましては、工業会始まって以来の大きな取組みとして林野庁補助事業を活用した、国産材基材の床暖房対応複合フロアの技術開発について、適合性試験規格の策定からフロアの試作、試験適合までご尽力いただきました。

先般、当工業会会員全体のフロア販売量の実に32%が国産材フロアの販売となっていることは、検討開始時には思ってもみない程大きな数値であります。

海堀前会長のご尽力に対して、心から敬意と感謝の気持ちを表したいと思います。

ありがとうございました。

さて、改めて我々の住宅状況を見てみると、消費税増税後の着工戸数の反動減や新型コロナウイルス感染症による建材需要や供給の不透明さなど、今後の住宅市場はどのような方向に進むか全く読めない状況にあります。そのような状況の中、私を取り組みを進めたいことを2点挙げさせていただきます。

まず1点目は、複合フローリングの国産基材比率50%達成に向けて、国産材基材による床暖房対応複合フローリングの技術開発の最終目標を達成することです。現在、一部の国産樹種での床暖房適正は確認できており、スギ材を中心とした

更なる適用範囲拡大に向けては、あと一步という状況です。非常にハードルの高い課題ではございますが、今年度中ないし来年度中に適合確認を完了させたいと考えております。

また、この技術開発のベースとなっている平成31年2月に公表した「複合フローリングの床暖房への適合性試験規格」については、全会員が国産材を使用した床暖房対応フローリング製品を安定して供給できるように、工業会としての運用規程(仮称)をできるだけ早期に策定したいと考えています。

ただし、この高いハードルを越えるためには、技術委員・床暖房プロジェクトチーム並びに、日本合板工業組合連合会や、関連省庁・研究機関の多大なる協力無くしては達成できません。今一度、皆様方のご協力をお願いすると共に、国産材の活用拡大を通して、環境保全に貢献したいと考えております。

2点目は、当工業会をより開かれたものとする事です。これまで、「フローリング・ナビ」において、エンドユーザー(最終消費者)向けにフローリングの種類と選び方、お手入れ方法など分かりやすく掲載し、業界情報の発信の核を担ってまいりました。

そこに新たに国産材製品の紹介や、ニュートラルユーザー(住宅会社、流通業者等)に向けた対象製品の案内なども推進いたします。

また、エンドユーザーに夢を提供できる住宅の床材です。これまで各メーカーが切磋琢磨してまいりましたが、今後も更なる暮らしの価値を向上させるため工業会全体で押し上げていきたいと考えます。

今後もエンドユーザー並びにニュートラルユーザーに対して、情報を発信し続けられる工業会で在り続けられるようにと考えております。

以上、当工業会は、今年度も業界・団体のさらなる発展に貢献してまいります。

引き続き、皆様のご支援・ご協力のほど、何卒よろしくお願いいたします。